

年報

こころの樹

– 事業報告 2007 年度（平成 19 年度） –



社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団

テレビ朝日福祉文化事業団の歩み

平成19年度は、株式会社テレビ朝日は開局50周年、テレビ朝日福祉文化事業団は創立30周年を迎えました。皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

株式会社テレビ朝日は、1968年（昭和43年、当時はNET=日本教育テレビ）から毎年秋に交通事故防止・社会福祉キャンペーン「慈善大相撲」（1993年「社会福祉大相撲」に改称）を開催し、その収益金を全日本交通安全協会、黄色い帽子の会、子どもの国協会など関係諸団体に寄付してきました。

1977年（昭和52年）8月、社名をテレビ朝日（全国朝日放送）と変更したのを機会に、より幅広い社会福祉活動を行うことをめざして、社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団を設立しました。

当事業団の設立は、1951年（昭和26年）6月に施行された社会福祉事業法に基づく第2種社会福祉法人として申請・認可されたものです。第1種社会福祉法人が児童養護施設や老人ホームなど福祉施設の設営を目的としているのに対し、第2種は事業活動を通じて社会福祉全般の増進にあたることを目的としています。

事業団では設立以来多くの方々のご理解とご協力を得て、高齢者、心身障害者、児童に対する福祉事業のほかにも、社会に貢献する他の福祉団体を後援、助成しています。

これからも放送事業と密接な連携を持ちながら広く福祉活動を開き、心のかよった“ともに生きる社会”を作っていくことを念願しています。今後とも、皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

目 次

高齢者福祉

お元気ですか！芸能人の高齢者施設訪問	4
第9回クプナ・フラ・フェスティバル	5
高齢者のはづらつカラオケコンクール	5
リハビリ舞踊指導の会	6
けやき坂カルチャー教室	7
ねんりんピック2007茨城大会	7
エイジング・イン・ジャパン	8
高齢者のパソコン教室	8
その他の高齢者福祉事業・団体への支援	9

心身障害者福祉

車椅子バスケットボール大会	12
ハンディスキー大会	13
全日本視覚障害者柔道大会	14
電動椅子サッカー関東大会	14
フリーダムヨットレース	15
ウィルチェアーラグビー日本選手権大会	16
ろう野球	16
自閉症カンファレンスNIPPON	17
リハビリ音楽療育	17
障害者わくわくカラオケコンクール	18
設備助成	18
その他の心身障害者福祉事業・団体への支援	19

児童福祉

高校生海外生活体験の旅	22
江戸っ子杯野球大会	23
わいわい面白ハイク	23
里親大会	24
夏の大学たんけん隊	25
演劇ワークショップ「リミックス」	26
社会を明るくする運動	26
第2回フィランソロピーLPGAプレイヤーズチャンピオンシップ	28
児童福祉施設職員のためのワークショップ	29
その他の児童福祉事業・団体への支援	29

第17回ミュージックウェーブ

児童養護施設への楽器プレゼント	32
-----------------	----

テレビ朝日福祉文化事業団創立30周年事業

地デジ放送対応テレビプレゼント	33
-----------------	----

六本木ヒルズ・アリーナでA L L – I N !	34
2008シニアライフエキスポ	35
春風にのせて歌うコンサート	36
福祉広報活動	
チャリティーコンサート	36
その他支援	
全国盲人福祉施設大会	37
軽井沢の森音楽祭	38
『家族の日』“童謡”ミニコンサート	38
東京都社会福祉大会	38
加入する福祉諸団体	
社会福祉大相撲	39
字幕／手話／解説放送推進事業	43
国内・海外災害被災者支援義援金	44
平成19年度収支報告	47

高齢者福祉

【お元気ですか！芸能人の高齢者施設訪問】

主催

こまどり姉妹



ベテラン歌手による高齢者福祉施設等への訪問、今年度は7度老人ホームをお訪ねしました。「体力と声の続く限り歌い続けたい」とこまどり姉妹の熱唱。「アンコール！アンコール！」の恵り香さん、江崎はる美さん。大御所、女剣劇の浅香光代さん、そして芸能リポーター梨元勝さんの芸能界裏話トークショーにお年寄りの表情も生き生き、拍手喝采の大成功でした。

平成19年6月17日 こまどり姉妹

セイワ習志野高齢者サービス

総合センター(千葉県・習志野市)

6月19日 こまどり姉妹

日の基青老閣養護老人ホーム
(東京都・北区)

9月16日 浅香光代・梨元勝

特別養護老人ホーム

暖心苑(東京都・江戸川区)

9月17日 江崎はる美

東村山養護老人ホーム

(東京都・東村山市)

9月21日 浅香光代・梨元勝

特別養護老人ホーム 春陽苑(埼玉県・さいたま市)

12月19日 恵り香

青梅天使園特別養護老人ホーム(東京都・青梅市)

平成20年3月15日 恵り香

町屋在宅高齢者通所サービスセンター(東京都・荒川区)



恵り香さん

江崎はる美さん



梨元 勝さんと浅香光代さん



【第9回クプナ・フラ・フェスティバル

名義共催

高齢者の生きがい推進事業として、1999年5月国際高齢者年を記念して始まった「クプナ・フラ・フェスティバル」の9回目。音楽と歌に合わせて手足、膝、腰を使って踊るフラダンスは、高齢者の健康増進につながるうってつけの健康法といわれています。今回はハワイから州知事代理として、クプナ・フラ・フェスティバル運営委員のジョー・クロダ氏が来日、感謝状の贈呈が行われショーがスタートしました。



出場者も年々増え、20チーム350人以上の高齢者が思い思いの鮮やかな衣装で着飾り、日頃の練習の成果をステージで披露しました。また本場ハワイから駆けつけたフラダンサーの登場で、会場は大いに盛り上がり、素晴らしい雰囲気と熱気に包まれた大会となりました。

期日：平成19年6月23日

場所：ウェルシティ東京（新宿区）

共催：(財)日本チャリティ協会

クプナ・フラ・フェスティバル運営委員会



【高齢者のはづらつカラオケコンクール

共催

日頃からレッスンを重ねて、思い思いの衣装に身を包み、満員の会場で自慢ののどを披露する。歌い終わって大きな拍手をうける。なかなか

衣裳もバッチャリ



かいいものですね。事業団では毎年都内の各地域で老人クラブ会員を集めたカラオケコンクールを開催しています。審査員の先生方も「昨今のカラオケブームで出場者のレベルは非常に高い」と評価。声を出すことは健康に良いだけでなく積極的に外に出て交流することは健康の条件でもあります。審査員の丁寧な講評に真剣に耳を傾け、目指すは北島三郎賞。楽しい大会となっています。

期日：平成19年7月26日 渋谷区大会 代々木八幡区民会館
11月1日 世田谷区大会
玉川区民会館ホール

11月31日 大田区大会
大田区民ホール・アリコ

共催：(財)日本チャリティ協会ほか



各賞受賞のみなさん

リハビリ舞踊指導の会 ~楽しく踊ってリハビリしましょう~ 主催

高澤流日本舞踊を基に医学の専門家の協力で生まれた「舞リハ」＝「リハビリ舞踊」は高齢者や障害者にとって安全でやさしく、リハビリに非常に効果があるといわれています。事業団では昭和61年より20数年にわたり「リハビリ舞踊」の普及に努めてきました。殆んどの方が車椅子、上半身のみの動きですが、考案者・高澤淑先生のリードで一斉に踊り始めます。「富士山」「いい湯だな」といった誰もが知っている曲にあわせて大きな声で歌って踊ります。またボランティア手作りのたすき棒を使って「青い山脈」、最後には「リハビリ舞踊万歳！」を三唱。ポイントは大きい声で歌うこと、楽しく踊ることだそうです。

期日：平成19年10月31日
場所：三鷹市 介護老人保健施設「太郎」
指導：高澤 淑氏、高澤 爽氏ほか
リハビリ舞踊の会



「♪青い山脈」の音楽に合わせて

けやき坂カルチャー教室

共催

毎月1回(年間10回)テレビ朝日本社多目的スペースümuで開かれている高齢者の生きがいを支援するカルチャー教室。現在、講座はプリザーブド・フラワー、書道、レースドール、アートクレイシルバー、デコラティブアレンジメント、チャイナペイントの6講座。

毎回手話のミニ講座も行っています。また平成20年2月27～29日は東京ビッグサイト：シニアライフエクスポートカルチャー教室を特別開催



「元気がいちばん」

し好評を得ました。

共催：さわやかグループ

会場：ümu(テレビ朝日多目的ホール)



けやき坂教室

ねんりんピック2007茨城大会

作文・小学生の絵コンクールの部

協賛

「さわやかな長寿の風を茨城に」をテーマに第20回ねんりんピック（全国健康福祉祭）が茨城県内の19の市と2つの町で開かれました。超高齢化社会の到来が迫りつつある今日においてシニア世代の健康と生きがいは喫緊の課題です。そうした中で開かれた茨城大会、競技種目も水泳、サッカー、弓道、ゲートボール、なぎなた、囲碁、将棋など多種多彩な26種目。



77歳の聖火ランナー

事業団では今回もねんりんピックと同時に行われている作文と絵のコンクールを協賛・助成しました。全国から募集した高齢者と小学生の作文と絵（絵のテーマは:私たちのおじいちゃん・おばあちゃん）の表彰式が結城市的市民文化センター「アクロス」大ホールで行われました。

期日：平成19年11月10日～13日

会場：茨城県ひたちなか市を

はじめとする19市2町

主催：(財)長寿社会開発センター

ほか

子ども達の入選作品



高齢化社会日本の状況を海外に情報提供する事業 (Aging in Japan)

後援

(社)エイジング総合研究センターは、我が国と国際的少子化高齢化の調査研究と広報活動を行っており、Webサイト「Aging in Japan」(英語、日本語併記)での情報発信は広く内外の関係者が知るところです。総務省統計局人口推計によると、2007年の日本人口の高齢化率（65歳以上人口割合）は21.51%。21世紀に入って世界最高の高齢化先進国になった我が国社会と高齢者の状況に世界の関心が日々高まって来ています。また、このサイトには、日本をしのぐ勢いで少子高齢化が進んでいる中国沿岸先進地域、台湾等東アジア地域の状況も紹介されています。事業団では同センターの活動を支援、高齢化問題に積極的に取り組んでいます。

高齢者のパソコン教室

共催

IT社会の中で高齢者が豊かな老後の生活を送るには、今やパソコンの存在が深くかかわりをもっています。

高齢者パソコン教室では初步的なワード、かなり高度なエクセル、お

楽しみ的な画像処理やインターネットからのダウンロード、そしてインターネットの弊害など多彩な講座を開いています。

楽しみながら覚えていくことをモットーとする教室には年間120時間のべ175人の高齢者が参加しています。

共催：さわやかグループ



キーボードにふれて若返り

【その他の高齢者福祉事業・団体への支援

●高齢者福祉施設へビデオプレゼント

平成11年度から続けているビデオプレゼント、今年度は松竹(株)の協力を得て故渥美清さんの代表作、男はつらいよシリーズから「寅次郎ハイビスカスの花」を関東1都6県の高齢者福祉施設、介護老人保健施設など、計165ヶ所に寄贈しました。「寅次郎ハイビスカスの花」はシリーズ3度目出演の浅丘ルリ子さんが寅さんと大人の恋を演じる話題作です。

施設のお年寄りにとって映画は友達との日々の話題提供になったり、笑うことで「脳」への刺激になったりと好評を得ています。



●さわやかバスツアーコラム

共催



鹿島神宮

カルチャー教室に参加しているお年寄りを中心にしたバスツアーが今年度も2回行われました。とかく家の中に閉じこもりがちになってしまふお年寄りが野外体験などを通じて活動の輪を広げ、生きがいを

深めることを目的としています。夏は軽井沢でクラシックコンサート鑑賞に、平成20年正月明けには千葉・鹿島神宮に初詣に行きました。

1、期日：平成19年7月29日

場所：軽井沢大賀ホール（軽井沢）

*軽井沢の森音楽祭2007



新鮮な魚が美味しかった～！

2、期日：平成20年2月1日

場所：鹿島神宮、銚子電鉄犬吠埼で濡れせんべい手焼き体験、

醤油工場見学など

共催：さわやかグループ

●高連協・国際シンポジウム「シニアと環境問題」

後援

シニアの生きがいづくりや社会貢献を推進している高齢社会N G O連携協（高連協）の「シニアの環境問題取り組み(2006年宣言)」を踏ました国際シンポジウム「シニアと環境問題」が開かれました。「私たちは人生100年を生きる最初の世代です。人間が長生きになったからこそよくなつたと言える社会を推進し、次の世代につなぎたいと願っています」という樋口恵子氏（高連協共同代表）に続いて、君和田正夫テレビ朝日福祉文化事業団理事長の挨拶。1部は「シニアは環境問題に取り組もう」第2部は「高齢社会とシニア」のテーマで討論しました。内外専門家から先進国と発展途上国の状況が紹介されたなかで、スエーデンからは教えられ、中国の難しい状況を知り、また韓国からは日本のシニアが忘れかけていることを気づかされました。

期日：平成20年3月7日

会場：有楽町朝日ホール（東京・有楽町マリオン）

主催：高齢社会N G O連携協議会（高連協）

後援：朝日新聞社

特別協賛：地球産業文化研究所

協賛：国土緑化推進機構



●第28回 MCコンテスト全国大会（高齢者歌唱コンテスト） 後援

「くちびるに歌を、心に太陽を」をモットーに高齢者の人々が健康で明るい人生を送れるよう、生きがいづくりの一助として役立つことを目的としての歌唱コンテストです。年に一度、歌を愛する全国のアマチュア歌唱ファンが一同に会し、日頃の学習効果と歌唱力を競う歌と音楽の祭典を後援・助成しています。

審査委員長 日本音楽著作権会長・日本作曲家協会最高顧問

船村 徹氏

審査委員 音楽評論家、元日本レコード大賞審査委員長

小西良太郎氏

期日：平成19年9月24日

主催：MC音楽センター

会場：中野サンプラザホール



船村 徹さんと受賞のみなさん

●高齢者施設での大正琴演奏会

協力

大正琴演奏グループ「エンゼルハート」の高齢者施設訪問を支援しています。事業団では高齢者施設を訪問して、大正琴の演奏を楽しんでもらう活動を行っています。演奏グループ「エンゼルハート」の皆さんには日頃の練習の成果を「楽しんでもらえれば」とお年寄りを前に一段と熱が入ります。男性ボーカルも加わり懐かしい曲、思い出の曲には思わず口ずさんでしまうほど。

1. 平成19年5月30日

デイサービスセンター正和クラブ深沢（世田谷区）



2. 9月 9日

かがやきライフ江東（江東区）

3. 12月15日

場所：デイサービスセンター正和クラブ南千束（大田区）

演奏者：エンゼル ハート

心身障害者福祉

第30回車椅子バスケットボール秋季大会 主催



シュート!

秋季大会は車椅子バスケットボールの普及振興とともに障害者、健常者に関係なくスポーツとして楽しんでもらうことを目的に開催しています。したがってこの大会では健常者の正式参加を認めており例年、障害者チーム、障害者・健常者混成チームによるトーナメントを行っています。今回は記念大会ということもあり、健常者チームだけのトーナメントを組み、大会を盛り上げるとともに、車椅子バスケットボールの体験講座も実施しました。

期日：平成19年11月4日

会場：BumB東京スポーツ文化館
(江東区夢の島)

共催：日本車椅子バスケット
ボール連盟



●第36回内閣総理大臣杯争奪 選手権大会

後援

期日：平成19年5月2～4日

場所：東京体育館メインアリーナ

主催：日本車椅子バスケットボール連盟
(財)日本障害者スポーツ協会



●第4回ジュニア選手育成講習会

後援

期日：平成19年9月15～17日

会場：国立乗鞍青年の家（岐阜県高山市）

主催：日本車椅子バスケットボール連盟ジュニア選手育成委員会

【第31回ハンディスキーキャンプ】

主催

事業団が第一回から主催しているハンディスキーキャンプが岐阜県高山市高山スキー場で開催されました。気温は低いものの、競技には申し分ない天候に恵まれ、初参加を含めた51人の選手が雪煙を上げて果敢に挑戦。



青空の下、今日は好タイム

ルールは『チャレンジタイムレース』。2回滑走し、その2回の滑走タイム差が少ないほうで勝負が決まるといういわば“自分との戦い”レースで、どのレベルの選手もゴールするとすぐに電光掲示板が気になります。

アウトリガースキー、チェアースキー、ブラインドスキー(伴走者付)など、

初級から上級までそれぞれの選手が自分の力を出し切って満足そうな笑顔で大会を終えました。大会運営にはボランティア、地元関係者など多くの協力で行われました。

期日：平成20年1月25～26日

会場：岐阜県高山市 高山スキー場

主催：日本身体障害者スキー協会



●第37回全国身体障害者スキー大会

後援

期日：平成20年3月6～8日

会場：秋田県仙北市たざわ湖スキー場

主催：日本身体障害者スキー協会

●第23回身体障害者スキー関東大会

後援

期日：平成20年3月14～16日

会場：群馬県丸沼高原スキー場

主催：日本身体障害者スキー協会関東支部

第22回全日本視覚障害者柔道大会

後援



視覚障害者柔道の普及・発展と愛好家の親睦を図り、人間形成に資することを目的とする大会。今回は北京パラリンピック出場枠決定戦代表候補選手選考会を兼ねて東京・講道館大道場で開催されました。



期日：平成19年11月25日

主催：日本視覚障害者柔道連盟

会場：講道館

第11回電動車椅子サッカー関東大会

後援



1982年に重度身体障害者の団体競技として考案された電動車椅子サッカーは電動車椅子に乗っていれば年齢性別関係なく同条件で誰でも楽しめるスポーツ。チームも年々増えており、全国で36チーム351人（2006年度協会登録数）が活動しています。関東大会は参加チームの競技力の向上と交流の場であるほか、電動車椅子サッカーというスポーツの社会的周知を目的としています。本年は初の2日間にわたる大会となり1日目のデビジョン1、2日目のビジョン2、それぞれ熱戦が繰り広げられました。

期日：平成19年9月23～24日
会場：障害者スポーツ文化センター
横浜ラポール
主催：関東ブロック電動車椅子サッカー
連絡会



特製ボール

【障害者ヨット大会・第16回フリーダムヨットレース 後援】



絶好のコンディション

障害者と健常者が一緒にヨットレースを行って障害者の積極的な社会参加、またマリンスポーツでのバリアフリーを推進しようと毎年開催されています。今年のフリーダムヨットレースは前日の雪で開会が危ぶまれました。ところが当日は快晴、気温9度、微風と冬の大会としては絶好のコンディション、

早朝からボランティア全員でヨットを組み立て港外に出ました。心地よい海風を受けて障害者も支援者も嬉しそうです。上下コースを2周、1.8キロメートルを無事走りきりました。終了後に主催者から北京パラリンピックにコーチ・選手を派遣したいとの発表に会場は大いに盛り上がりました。

期日：平成20年2月10日
場所：千葉市稲毛ヨットハーバー
主催：特定非営利活動法人ヨット
エイドジャパン



優勝した国松・吉田チーム

■第9回ウィルチェアーラグビー日本選手権大会 後援

2000年シドニーパラリンピックから公式種目になったウィルチェアーラグビーは四肢障害・四肢麻痺者等の車椅子のスポーツとしてカナダで考案された団体競技です。

日本選手権大会は、国際的スポーツであるウィルチェアーラグビーをより多くの方々に紹介する場であるとともに、国内最高峰の競技大会です。日本各地のリーグ戦を勝ち進んできたチーム、選手たちが技術の高いプレーで優勝を目指します。

期日：平成20年2月22～24日

場所：千葉ポートアリーナ（千葉市）

主催：日本ウィルチェアーラグビー連盟

後援：千葉市、(財)日本障害者スポーツ

協会、日本パラリンピック委員会



激しいぶつかり合い

■ろう野球 後援

●第32回全日本ろう者社会人軟式野球全国大会

期日：平成19年10月5～7日

場所：江東区潮見運動野球場、品川区青空野球場

主催：全日本ろう社会人軟式野球連盟

●第1回全東京ろう社会人軟式野球全国大会

期日：平成19年3月31日、5月13日、5月20日、6月3日、6月17日、7月8日、8月26日、9月1日

場所：北区清荒川大橋球場 板橋区小豆沢球場 江東区塩見運動野球場
板橋区戸田橋球場 品川区青空運動野球場 足立区江北橋右岸
球場

主催：全東京ろう社会人軟式野球連盟

【自閉症カンファレンスNIPPON2007】

後援

自閉症者への総合的支援システムとして世界でも有効性が認められている「TEACCHプログラム」の紹介と国内での実践状況の報告・情報交換をする自閉症専門会議。

期日：平成19年8月25～26日

会場：早稲田大学

主催：自閉症カンファレンスNIPPON実行委員会

朝日新聞厚生文化事業団

【知的障害者リハビリ音楽療育】

主催



リハビリ音楽とは、歌ったり、楽器を演奏したり、またリズム動作などで音楽を楽しみながら、心と身体機能の衰えを防いだり、現在の状態を維持、強化したり、グループコミュニケーションを図ることを目指した音楽療法です。今年度は2度発表会が開かれました。

知的障害を持った若者、介護なしでは歩くこともままならないお年寄り、また中途で障害となった人とそれぞれ障害は異なりますがみんな練習熱心。舞台に立ったときは一様に緊張しきった顔、でも終わった瞬間、その顔にはぱっと赤みがさし、安堵の表情が印象的でした。

1. 期日：平成19年 8月29日

会場：東久留米市西部地域センター

多目的ホール（東京都）

2. 期日：平成19年10月28日

会場：障害者スポーツ文化センター

横浜ラポール



協力：(財) 東京ミュージック・ボランティア協会

【第9回障害者わくわくカラオケコンクール 共催】



絶唱!

視覚障害、知的・精神的障害、また癌手術で声帯を失うなど心身障害者がカラオケをリハビリに取り入れて積極的に社会参加を図ろうと、カラオケコンクールが今年も新宿区簗縄区民ホールで開催されました。1位の北島三郎賞、テレビ朝日福祉文化賞を目指して日頃の練習の成果を遺憾なく発揮。観客を沸かせました。

期日：平成20年3月21日

会場：牛込簗縄区民ホール（新宿区）

共催：(財)日本チャリティー協会



しっとりと…

【障害者施設等への設備助成】

事業団では毎年、資金不足や公的援助では十分とはいえない心身障害者の小規模共同作業所に対し、施設の運営に必要な器具、備品、設備を助成しています。今年度は以下の9施設に実施しました。

①障害者地域作業所「まってる」(横浜市)

アルミ缶つぶし機

②障害者地域作業所「トムトムの家」(横浜市)

パソコン1台

③障害者地域作業所「もみの木第一作業所」

(横浜市)

パソコン2台・プリンター1台

④精神障害者地域作業所「耕房 輝」(台東区)

パソコン1台

⑤精神障害者地域作業所「シンフォニー」(志木市)



パソコン



アルミ缶つぶし機

- ガス高速オーブン1台
- ⑥障害者地域作業所「コスマス工房」(鴻巣市)
仮設トイレ設置
- ⑦障害者地域作業所「ウイニングウインド」
(横須賀市)
自動紙折機1台
- ⑧障害者地域作業所「ワークショップひまわり」
(横須賀市)
スチール製下駄箱
- ⑨地域作業所「ぶどうの木」(鎌倉市)
洗濯機1台・エアコン1台



下駄箱

【その他心身障害者福祉事業・団体への支援】

●第24回高校生の手話によるスピーチコンテスト

後援

手話の普及とボランティア活動、福祉教育の推進を目的とした「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」。今回応募者79人の中から事前審査で選ばれた10人が有楽町マリオンに集合、音声と手話を同時に使い競いました。「私と手話の出会い」をテーマに「聴覚障害者と健聴者の架け橋になりたい」とスピーチした大阪府向陽台高校 田窪愛さんが優勝しました。当日の開会式では来賓の秋篠宮妃殿下より「手話が日本、世界で広く認知されていくことを強く願っております」とお言葉がありました。

期日：平成19年8月25日

場所：有楽町マリオン

主催：全日本ろうあ連盟、朝日新聞社、

朝日新聞厚生文化事業団

後援：厚生労働省、文部科学省、

日本手話通訳士協会



優勝した田窪 愛さん
(大阪府向陽台高校)

●第23回東京の夏音楽祭2007

協力

テーマは「島へー海を渡る音」12演目21公演で、テーマに相応しく世界各地の島々から珍しい演目が揃い、また心に染み入る歌と演奏など多彩なプログラムで構成されました。

期日：平成19年7月2日～8月5日

会場：都内各音楽ホール

主催：アリオン音楽財団、朝日新聞社

*八丈島障害者の招待に助成

●ファミリー童謡コンサート

後援

障害者・高齢者招待

1. 期日：平成19年6月30日

場所：東大和市ハミングホール

2. 期日：平成20年3月15日

場所：ルネこだいら

主催：NPOポポロ

後援：小平市教育委員会、社団法人日本童謡協会ほか

●心身障害者施設合宿訓練

助成

1. わらじの会（精神薄弱者共同作業所・埼玉県越谷市大房）

期日：平成19年8月24～26日

場所：群馬県草津町

2. 千葉県手をつなぐ育成会（知的障害者地域作業所・千葉県・千葉市）

期日：平成19年11月21～22日

場所：会津芦ノ牧温泉

●第23回DPI日本会議全国大会神奈川大会

後援

期日：平成19年6月9日～10日

会場：ワーケピア横浜（神奈川）

主催：DPI日本会議（障害者インターナショナル）

●第20回「福祉MY HEART美術日仏交流記念展」

後援

期日：平成19年11月15日～30日

場所：フランス ツール市

主催：N P Oマイハート・インターナショナル

●AJU自立の家

後援

知的障害者通所授産施設「ピア名古屋」では多治見神言修道院の修道士の指導の下、ぶどうの栽培、ワインづくりを手伝っています。毎年秋に開催される「ワインフェスティバル」は醸造したワインの成果を発表する場として様々な催しが行われました。

期日：平成19年11月23日

主催：AJU自立の家ピア名古屋

共催：中日新聞社会事業団

後援：多治見市ほか

●第45回「ぼくにもできる展」

後援

総合福祉センター・弘済学園（知的障害、自閉症児者施設）園生の作品展は、今年で45回目。この作品展は大勢の人を見て、触ってもらうことで、福祉への理解と関心を持ってもらおうというものです。織物、木彫り、鉢花などすべてが園生の手作りで、素材を加工し製品にした作品4,600点を展示、販売されました。今回もこのイベントに賛同した俳優の館ひろしさんがテープカットに参加、子供たちの作品を鑑賞していました。

期日：平成19年12月3～7日

場所：JR東京駅丸の内北口

地下・動輪の広場

主催：財団法人鉄道弘済会、

東京都社会福祉協議会

特別協力：石原プロモーション



館ひろしさんを囲んで

児童福祉

【高校生海外生活体験の旅 in オレゴン】

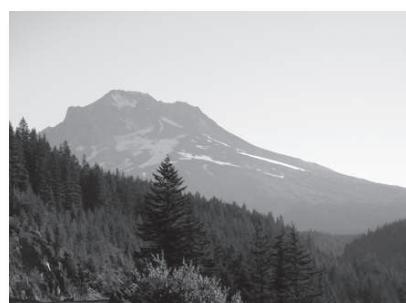
共催

事業団では、東京都の児童養護施設の高校生を対象に海外でのホームステイ体験の旅を実施しています。今年もアメリカ・オレゴン州ポートランドに8名の高校生を招待しました。全泊ホームステイして、異国の文化に触れ、また家庭生活を体験します。昼間は近郊の高齢者施設を訪ね昼食の盛り付けや配膳の手伝い、食事の合間には全員で歌のプレゼント。そのほか日常生活体験としてスーパーマーケットに行き商品の値段や量、質など日本との違いも勉強できました。旅の後半は本格的ラフティングでアメリカの大自然を体感。短い旅でしたが、「海外ホームステイ体験」は得難い経験、これから的人生に自信をつける旅だったようです。

期日：平成19年8月22～28日

共催：東京都社会福祉協議会児童部会

後援：原田積善会



オレゴンの富士・Mt.フット



まず、英会話の授業から



Nice to meet you !



スーパーマーケット探検



お別れ



ホストファミリーの皆さん
ありがとうございました

東京都児童福祉施設競技大会 江戸っ子杯野球大会2007

共催

毎年恒例、三鷹市大沢総合グランドで東京都内にある児童養護施設9施設140名が参加して開催された「江戸っ子杯野球大会」は、事業団が東京都社会福祉協議会児童部会と共に、今年で9年目になります。毎回出場する選手全員および関係者には事業団特製の野球帽やスポーツバッグなどをプレゼント。また、西武ライオンズで活躍した元プロ野球選手の大塚光二氏をゲストに招き始球式を行っていただきました。元プロ野球選手の登場で少年たちは一緒に記念写真を撮ったり、サインをもらったりと楽しい思い出作りができました。

期日：平成19年8月1日～2日

共催：東京都社会福祉協議会児童部会ほか

後援：東京都、三越厚生事業団



わいわい面白ハイク

主催

児童養護施設で生活している子供たちを招待して毎年川釣り体験と潮干狩りを行っています。

～僕にも釣れた！！秋川・中津川マス釣り体験～

釣りハイクには毎回テレビ朝日の釣り部員、OB等が子どもたちにエサの付け方、釣り方を指導しています。秋川では小学校2年生から高校3年生までの子ども達が釣竿の先に集中！釣り部OBの丁寧な指導で釣り上げるときの“あの感触”を味わう事ができました。中津川で釣りを堪能した後、服部牧場を訪ね馬や牛、羊など動物たちとの触れ合いを楽しみました。



釣れた！

期日：平成19年5月26日（秋川）

平成19年9月29日（中津川）

～木更津牛込海岸潮干狩り～

今年の潮干狩りも木更津牛込海岸。服の濡れるのも気にせず夢中でアサリ採りやヤドカリを捕まえたりと、みんな真っ黒になって樂しみました。帰りには富津火力発電所に併設された「TEPCO新エネルギーパーク」に立ち寄りソーラーカーに乗ったり、電気について勉強。いつもの仲間に加えて他の施設の子どもたちと1台のバスに乗って、過ごした体験はいい思い出となることでしょう。

期日：平成19年6月2日(木更津)



獲った！

～餅つき大会～

今年の1月20日に続き暮れも近づいた12月の小春日和、東京・日の出町の「太陽の家」をお借りして近隣の養護施設の子どもたちや指導員総勢38人が参加し「餅つき大会」が行われました。用意したもち米10キロ、蒸したセイロが5つ。「太陽の家」の職員の指導のもと、初めて杵を持った子どもも大奮闘。自分たちでついたあんころ餅、黄な粉餅などあつという間にたいらげました。また施設内の「日の出工房」では陶芸にも挑戦、裏山ではキノコ狩りと子どもたちの表情が底抜けに明るい冬の1日となりました。



思ったより難しいなあ

期日：平成19年12月8日（日の出町）

里親大会

共催／後援

●第53回全国里親大会

共催

全国の里親および関係者が一堂に会し、里親制度の意義と目的について認識を深め、里親制度の一層の発展を図るとともに里親たちの表彰をおこないます。

期日：平成19年10月7日

場所：盛岡市民文化ホール(大ホール)

共催：厚生労働省、岩手県ほか

●第53回関東甲信越静里親研究協議会

後援

期日：平成19年7月7～9日

場所：東京ベイ幕張（アパホテル&リゾート）

主催：関東甲信越静里親研究協議会、千葉県ほか

【夏の大学たんけん隊】～みんなであそぼう緑のキャンパス～

後援

平成17年4月施行された次世代育成行動計画に基づく法政大学現代福祉学部高橋利一教授ゼミナールの活動“みんなで遊ぼう緑のキャンパス”は今年で3回目。地域の子どもたち約150名と保護者の方々、学内の学生ボランティア約100名、ゼミ生34名のチームワークで充実した行事となりました。参加した子どもたちは大学生と班をつくり、広い構内をウォークラリー、「からくり大迷路」「○×クイズ」「福祉体験」「ウォーターシュート」などの学生たちの手作りアトラクションを楽しみました。保護者は臨床心理学の観点から子育てを見た小野純平教授による子育てセミナー「子育ては親子の共同作業」を受講、熱心に耳を傾けていました。



体験中！

期日：平成19年8月10日

場所：法政大学多摩キャンパス(八王子市)

主催：法政大学現代福祉学部高橋利一教授

ゼミナール



子育てセミナー



【演劇ワークショップ 「リミックス」

共催

児童養護施設で生活する中・高生を対象に、演劇を通じて表現力、想像力、コミュニケーション能力を伸ばし自己評価を高めてもらおうと、演劇ワークショップ「リミックス」を開催しました。ワークショップでは、形態模写（自転車・鉛筆削りなど）、単語（飛ぶ・書くなど）からダンスを創る、ダンスに言葉を付ける、自分の好きな詩や音楽や漫画を朗読したり身体を動かして表現するソロワーク、2～3人の組を作り物語を創作するなどいろいろな活動をおこないました。関東各地より集まった男女16名は目を輝かせながら課題に取り組み、魅力的なパフォーマンスを発表しました。



講師の吉野さつきさん・柏木 陽さん

期日：平成19年12月26～28日

場所：B u m B 東京スポーツ文化会館（江東区夢の島）

主催：朝日新聞厚生文化事業団

後援：東京・神奈川・埼玉・千葉・茨城・栃木・

群馬の各社会福祉協議会



どうです！私のパフォーマンス

【第57回社会を明るくする運動

協力／後援

「社会を明るくする運動」とは、犯罪や非行のない明るい社会をめざして地域住民の理解と協力を深める、昭和26年に始まった法務省主唱の全国的な運動です。事業団は2007年、港区「青少年育成大会 in 六本木ヒルズ」と東京藝術大学で行われた中央行事「匠に学ぶワークショップ」に協力しました。

●青少年健全育成大会 in 六本木ヒルズ

協力

地域社会が青少年を犯罪や非行から守り、罪を犯した人の更生に協力し、明るく安全な社会を作っていくという法務省主唱のこの運動に事

業団は昨年に引き続き協力、事業団は世界的ジャズ・トランペッターの日野皓正さんをお招きしました。

日野さんは子どもたちに練習のコツやどの筋肉を鍛えたらいいかなど、具体的なアドバイスを語り、子どもたちは皆熱心に聞き入っていました。



あこがれの日野さんとセッション



最後には港区立南山小学校のジャズ・バンドのみんなとセッション、素晴らしい演奏を聞かせてくれました。

期日：平成19年7月7日

会場：六本木ヒルズアリーナ

日野皓正さん

●匠に学ぶワークショップ in 東京藝術大学

後援

親子で共同作業



地域社会の対人関係の希薄化などにより、子どもたちと他人との触れ合い、自分の感情を適切に表現することを学ぶ場が失われつつあると言われており、それが原因で非行に陥る少年も少なくありません。親子が一緒に創作・表現活動を行い一流の専門家と触れ合える場を提供して、子どもたちの健やかな成長を支援しようというワークショップです。

講座は

1. 鍛金教室（銀のマドラーをつくろう）
2. デザイン教室（大きな画面に人物を描こう）
3. 音楽教室（竹の太鼓を作って演奏をしよう）

期日：平成19年8月4日

場所：東京藝術大学（台東区）

参加者：台東区の小学生と保護者60組120名



アドバイスを受けながら

【第2回クラシエフィランソロピー LPGAプレイヤーズチャンピオンシップ 後援

“働く女性をサポートする” というメインテーマのもと、母子福祉、児童福祉事業支援を主な目的に発足した新しい女子ゴルフ・トーナメントの第2回大会が千葉県の習志野カントリークラブで行われ、この模様はテレビ朝日系全国ネットで放送されました。

出場選手の獲得賞金や入場料など大会の収益金の一部は事業団を通して以下の9施設に寄贈しました。

期日：平成19年7月19日～7月22日

場所：習志野カントリークラブ（千葉県）

1. 同仁会乳児院（茨城県高萩市）通院用自動車
2. 桐育乳児園（群馬県桐生市）業務用洗濯機
3. 康保会玉淀園（埼玉県大里郡）通院用自動車
4. 聖愛乳児園（千葉県いすみ市）

液晶テレビ 砂場 掃除機 パソコン等

5. 愛恵会乳児院（東京都町田市）
テーブル 椅子 ベビー用パッド等
6. 聖母乳児院（新潟県見附市）
洗濯機 空間清浄システム
7. 浜松乳児院（静岡県浜松市）
業務用ガス乾燥機

8. 和歌山乳児院（和歌山県和歌山市）通院用自動車
9. どんぐり保育園（千葉県印西市）
哺乳瓶保管庫 収納ベッド付医療品棚等



優勝 張娜プロ



三角山

また本大会直前の7月16日に起きた「新潟中越沖地震」災害による被災者支援の義援金200万円が大会出場選手から贈られました。この義援金は日本赤十字社を通して現地へ届けられました。



収納ベッド付き医療品戸棚

ミニイステーブルセット

通院用自動車

【児童福祉施設職員のためのワークショップ 共催】

近年、児童福祉施設では被虐待児童をはじめ問題行動を抱えた児童が増加しています。そこで児童福祉分野に従事するスタッフを対象に被虐待児に対し、専門的で効果的なケアの提供ができる職員の養成を目的としたワークショップを行いました。1980年代から児童虐待やネグレクトの問題に取り組み日米の子供と家族の治療に従事してきたDr.田中万里子、Dr.ロジャー・カミングス両氏を今年も迎え、応対技術(非言語コミュニケーション)応答技術(効果的なコミュニケーション)、肯定思考、神経言語、パラフレーズ、リフレクションなど実践してすぐに役立つ講義が行われました。

期日：平成19年9月26～27日

場所：ザ・クロニクル立川（立川市）

共催：(社福)至誠学舎立川 至誠学園



講義中

【その他の児童福祉事業・団体への支援】

●こどもの国（神奈川県横浜市）のお正月行事

助成

ジャンボカルタ取り大会

正月恒例のジャンボカルタ取り大会。使用するカルタは大きさ縦1m×横1mのジャンボいろはカルタです。遊び方は通常のカルタと同じ。参加者は広場に置かれた絵札を取り囲み、問い合わせの札が読まれると、答え



の札を取り合います。最初に触った人が勝ちです。子どもたちは自分の背と同じ位の大きなカルタに悪戦苦闘しながら楽しんでいました。

期日：平成20年1月2～3日

どんど焼き行事

子どもの国のどんど焼きは、園内に自生する笹と竹で円錐形のやぐらを組み門松を飾り土台を作ります。参加者が各々持ち寄った松飾りやしめ縄などの正月飾りを添え、子年生まれの女の子、男の子たちが点火。燃え盛る炎で書初めを燃やし学業の上達を願ったり、短冊を燃やし願いをかけたり。煙を浴びて無病息災を願う参加者もいます。

期日：平成20年1月13日



●第57回児童福祉施設文化祭

後援

施設児童(児童養護、自立支援、知的障害児施設)に情操面の積極的な育成を図るため昭和26年からこの文化祭は毎年秋に実施されています。都内・近県の参加施設は音楽、舞踊の二部門から選択して構成演技し、それぞれの専門の先生から講評を受けるので指導者の関心と児童の意欲を高める上に大きな役割を果たしています。

期日：平成19年11月18日

場所：明治神宮会館

主催：(財)日本民生文化協会

●第49回慈彩会チャリティ絵画展・贈呈式

後援

財界、官界など社会の一線で活躍している会員の美術作品店を展示即売し、収益金で児童文化祭を行い、作品の一部は福祉施設に寄贈しました。

当日会場では来賓の常陸宮妃殿下が作品の前で出展者一人一人と言葉を交わされました。

期日：平成19年7月10～16日

場所：日本橋三越本店

主催：慈彩会・日本民生文化協会

●第2回全国童謡歌唱コンクール

後援

期日：平成19年11月3日

場所：ゆうぽーとホール（東京・五反田）

主催：（社）日本童謡協会 テレビ朝日および系列23社

●プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント

プロ野球ヤクルト戦入場券を(財)東京善意銀行を通して都内の精神障害者共同作業所施設61施設にプレゼントしました。

●自立援助ホーム「憩いの家」バザー

後援

10月初めの世田谷バザーが終わってから12月末までの2ヶ月半で110件の提供品が集まりました。

期日：平成19年12月20～25日

場所：日本橋高島屋 8階

主催：（社福）青少年と共に歩む会

第17回ミュージックウェーブ

児童養護施設への楽器プレゼント



テレビ朝日で毎年年末に放送される音楽番組「ミュージックステーション・スペシャル」から拠出されている基金「ミュージックウェーブ」では、全国の児童養護施設に楽器のプレゼントを平成3年以来毎年おこなっています。今年で17回目を迎え、平成19年度はピアノ、ギター、トロンボーンなど以下の通りを計7施設に贈り、贈呈先は延べ108施設になりました。また今回も地元のテレビ朝日系列局でニュースとして大きく扱われました。



一平成19年度楽器贈呈一

贈られた太鼓で演奏する子どもたち（恵明学園）

施設名	主な贈呈楽器
①埼玉県 同仁学院	電子ピアノ、クラシックギター、ミュージックベル他
②静岡県 恵明学園	囃子用長胴太鼓、締太鼓他
③奈良県 大和育成園	電子ピアノ、電子ドラム、トランペット他
④広島県 似鳥学園	クラシックギター、マリンバ、キーボード他
⑤福井県 白梅学園	ギター、電子ピアノ、クラビーノ他
⑥鹿児島県 桜島学園	アルトサックス、ドラム、クラリネット他
⑦神奈川県 幸保愛児園	トロンボーン



演奏会（似鳥学園）

テレビ朝日福祉文化事業団創立30周年事業

【地上デジタル放送対応TVを高齢者グループホームに寄贈 主催】

テレビ朝日開局50周年と事業団創立30周年、また朝日新聞厚生文化事業団創立80周年を記念して「地上デジタル放送対応テレビを高齢者のグループホームに贈るキャンペーン」を行い、東京都と関東地方のグループホーム300施設に地上デジタルTVを寄贈しました。

2011年、テレビ放送はアナログから地上デジタル放送に完全移行します。グループホームで暮らす高齢者の方々にとってテレビ観賞は日常の大きな楽しみのひとつとなっており、高画質・高音質に加え様々な情報を得ることのできる地デジTVを贈るのは大変意義深いことと考えています。

北京オリンピックの聖火が日本にやってきた4月25日（金）、テレビ朝日本社で贈呈式を行いました。式典は特別プレゼンターに“テレビ朝日スポーツの顔”松岡修造さんを迎え、寄贈先グループホームの代表8施設の皆さんにお集まりいただきました。松岡さんは地デジの美しい画面をご自身の経験も交えて話され、ホーム職員のみなさんへのねぎらいの言葉などで会場は暖かい雰囲気に包まれました。

共催：朝日新聞厚生文化事業団

朝日新聞社



松岡修造さんから目録贈呈



贈呈式記念撮影



地デジ対応テレビを楽しむグループホームの皆さん

【六本木ヒルズ・アリーナでALL-IN!】

主催

夏休みシーズン真只中の8月、六本木ヒルズアリーナで事業団の創立30周年を記念してコンサート“ALL-IN”が開催されました。

当日は番組「ミュージックステーション」を通して行っている全国の児童養護施設への楽器プレゼント「ミュージックウェーブ」、心身障害者のリハビリ音楽療育、高齢者施設への歌手訪問などで出会った『音楽』を生きる喜びとして楽しんでいる方々の中から以下の3つの団体をお招きして日頃の練習の成果を発表していただきました。

1 (財)東京ミュージック・ボランティア協会

「キラキラスターズ」のバンド演奏と歌

2 児童養護施設 幸保愛児園

「幸保エバーグリーンズ」の吹奏楽

3 早稲田大学グリークラブOB会

「東京稻門グリークラブ」のアカペラ合唱

「音楽を通じて集まった全員が力を出し切ってひとつのステージを成し遂げよう！」という“ALL-IN”に込められたメッセージ通りにみなさん大熱演！

またテレビ朝日の代表的キャラクター、ドラえもんも登場し「新潟県中越沖地震被災者」への支援を訴えました。

さらにゲストのシンガーソングライター川嶋あいさんはミニ・ライブで熱唱！フィナーレでは、出演した3団体全員が一緒にステージに上がり、川嶋さんの「見えない翼」を大合唱して頑張っているすべての人々への応援を歌い上げました。

期日：平成19年8月12日

会場：六本木ヒルズアリーナ



2008シニアライフエキスポ

後援



会場

団塊世代の大量退職が進んでいます。そんな中、豊かなシニアライフ、アクティブなシニアライフの実現を応援しようと今年もシニアライフエキスポが開催されました。今回は事業団の30周年事業として“元気がいちばん”

というスローガンのもと講演会を企画して参加しました。

期日：平成 20 年 2 月 28 日

①シニアライフを充実させる「免疫力を高める食材と食事法」

総合ビレッジ医師 松島健司氏

②もともとの老後づくり「元気に生きるノウハウの原則」

山野美容芸術短期大学美容保険学科 教授 生山匡氏

③団塊世代はこう生きる！

テレビ朝日福祉文化事業団事務局長
高井正憲

④健康と長寿社会の実現を！」

私は走り続けます

弁護士・参議院議員 丸山和也氏

⑤取材で知った著名人の若さの秘訣

リポーター 梨元 勝氏／東海林のり子氏



丸山さんの講演会

期日：平成 20 年 2 月 27 ~ 29 日

「けやき坂カルチャー教室」の先生方の実演や作品の紹介、パネルを展示しました。

会場：東京ビッグサイト

主催：CMP ジャパン

後援：シルバーサービス振興会



カルチャー教室

【春風にのせて歌うコンサート

特別協賛

～世代をこえて障害をこえて～

松尾葉子さん指揮によるオーケストラをバックに小・中・高校生・各大学の合唱団OB／OG、高齢者施設、そして障害をもつ方々などの参加のもと、世代を超えた2000名が会場を埋め尽くしました。日本赤十字社社長・近衛忠輝氏を始め各国大使館員も加わり観客席と舞台が一体になって「♪故郷」を合唱。ヨハンシュトラウスの「ラデツキー行進曲」の演奏では会場全員が手拍子。まさに「高齢者も童心に返り、障害を持つ人も共に楽しく生きる」ことを体験した1日となりました。

期日：平成20年3月9日

会場：渋谷C. C. Lemonホール(渋谷公会堂)

主催：世代間交流コンサート実行委員会

共催：渋谷区

後援：日本赤十字社ほか



観客席と舞台が一体に

福祉広報活動

【チャリティーコンサート

主催

事業団では児童養護施設の子ども達や近隣のお年寄りなどを招待してチャリティーコンサートを開催しています。

●～川畠成道チャリティーコンサート・スペシャル～

ヴァイオリニストとして世界的に活躍する川畠成道さんは日頃から福祉活動に大変熱心で、今回、事業団の活動にご賛同いただきコンサートを開催して下さいました。いつも川畠さんを応援している熱心なファンの方々や、コンサート初体験という目の不自由な方々、小学生のお子さんたちまで、客席の皆さんにはその素晴らしい演奏を堪能していました。

出演：川畠成道（ヴァイオリン）

九頭見香穂里（ピアノ）

期日：平成19年6月10日

場所：高輪区民ホール

後援：港区スポーツふれあい

文化健康財団



●～東京アンサンブルチャリティーコンサート

主宰者・服部譲二氏とその音楽仲間が、「聴衆を幸せにする」を合言葉に結成した「東京アンサンブル」は日本をはじめ、世界各地で絶賛を博しています。今回はその中から6人のメンバーが珠玉の弦楽六重奏を聴かせて下さいました。

出演 服部譲二（ヴァイオリン）、川田知子（ヴァイオリン）、

鈴木康浩（ビオラ）、桑田 穂（ビオラ）、山本裕康（チェロ）、

赤池 光治（コントラバス）

期日：平成20年3月21日

場所：高輪区民ホール

後援：港区スポーツふれあい文化

健康財団



その他支援

「第55回全国盲人福祉施設大会」

後援

期日：平成19年6月21～22日

会場：ホテルメトロポリタン盛岡（盛岡市）

後援：厚生労働省 日本盲人福祉委員会ほか

主催：（社福）日本盲人社会福祉施設協議会

■ 軽井沢の森音楽祭2007

子供と高齢者のためのチャリティーコンサート

後援

ウイーンフィルハーモニー管弦楽団の主要メンバーを中心に、軽井沢各所で開催された本音楽祭は子供、高校生、高齢者の方が、世代を超えて本物のクラシック音楽にふれることの出来る素晴らしい機会となりました。

期日：平成19年7月14～29日

会場：軽井沢大賀ホールほか

主催：林屋総合研究所 音楽事業部

■ 第1回『家族の日』“童謡”ミニコンサート

後援

期日：平成19年11月22日

会場：小平市中央公民館 2Fホール

後援：(社福) 小平市社会福祉協議会 社団法人日本童謡協会ほか

主催：ポポロ

■ 第56回東京都社会福祉大会

協賛

期日：平成19年12月19日

場所：東京都庁第一庁舎 大会議場

主催：東京都、東京都社会福祉協議会、東京都共同募金会

加入する福祉諸団体

- ・ 高齢者NGO連絡協議会
- ・ (財) 助成財団センター
- ・ (社福) 東京都社会福祉協議会

第40回社会福祉大相撲

＜テレビ朝日開局50周年記念企画・テレビ朝日福祉文化事業団創立30周年記念＞

期日：平成19年10月6日

場所：両国国技館

社会福祉大相撲はテレビ朝日の社会貢献事業として、日本相撲協会の全面協力のもと、今年で40回目を迎えました。



幕内優勝は琴欧洲

10月6日(土)の両国国技館では恒例の「十両トーナメント」、「幕内トーナメント」「初切り」「関取 vs 豆力士」「相撲甚句」などのプログラムが並びました。また大関琴欧洲から目黒区立上目黒小学校の1年生19名に交通事故防止の「黄色い帽子」が贈呈

されました。

トーナメントの優勝力士は十両が千代白鵬、幕内は琴欧洲です。

続くバラエティーショーでは、アカペラで有名なRAG FAIRと大関千代大海の歌の共演、PRINCESS TENKOこと引田天功さんと武藏丸親方、TIMのレッドさんを交えた相撲イリュージョンなど、盛りだくさんの内容に訪れた7500人の観客は楽しい1日を過ごしました。今年も心身障害者施設、高齢者施設などから多くの方々を招待しました。なお「社会福祉大相撲」の純益は次の交通事故防止諸団体へ寄付すると共に様々な社会福祉事業に役立てられています。



十両優勝の千代白鵬



横綱白鵬土俵入



高見盛 & チビッコ

(寄付先) 財団法人 全日本交通安全協会

財団法人 東京交通安全協会

財団法人 日本交通安全教育普及協会

社会福祉法人 こどもの国協会

交通事故遺児を励ます会

黄色い帽子の会



RAG FAIR & 千代大海

今年度の社会福祉大相撲は、次の各社・団体のご協力により開催できました。厚く御礼申し上げます。

協賛会社および団体名 (敬称略・五十音順)

(株)朝日新聞社	朝日建物管理(株)	(株)アサヒファシリティズ
池上通信機(株)	エア・ウォーター防災(株)	(株)関電工
国際自動車(株)	J S A T(株)	(株)シー・アイ・シー
松竹(株)	新日本プロレスリング(株)	住友信託銀行(株)
(株)スミノエ	(株)損害保険ジャパン	(株)台東サービス
大和自動車交通(株)	ダイダン(株)	帝都自動車交通(株)
テレビ朝日映像(株)	(株)テレビ朝日サービス	(株)テレビ朝日データビジョン
(株)テレビ朝日ベスト	(株)テレビ朝日ミュージック	(株)テレビ朝日リビング
東映(株)	(株)東京サウンドプロダクション	東京綜合警備保障(株)
(株)東京美術	東京無線共同組合	(株)東芝
東宝(株)	東邦航空(株)	(株)トラストネットワーク
日個連東京都営業協同組合	日本アサヒ機工販売(株)	(株)日本ケーブルテレビジョン
日本興亜損害保険(株)	日本電気(株)	(株)ビデオ・パック・ニッポン
ビデオトロン(株)	(株)日立国際電気	(株)日の丸リムジン
富士映画(株)	富士ゼロックス(株)	(株)フレックス
(株)文化工房	(株)放送技術社	(株)マルゼン
(株)三井住友銀行	三井住友海上火災保険(株)	三菱電機(株)
(株)三菱東京UFJ銀行	(株)ミヤギ	(株)ムラヤマ
(株)明電舎	横浜エレベータ(株)東京支店	ユーレストジャパン(株)
立正佼成会		

協 賛 財団法人日本相撲協会

協 力 国技館サービス株式会社

東京原宿ライオンズクラブ

東京蔵前ライオンズクラブ

東京六本木ライオンズクラブ

広告協賛会社および団体名 (敬称略・五十音順)

アラコム(株)	(株)泉放送制作	インターナショナルエクスプレス(株)
エバラ食品工業(株)	鹿島建設(株)	(株)共立
国技館サービス(株)	(株)シービーエス	(株)ジョリエス
シンエイ動画(株)	(株)竹中工務店	(株)テイクシステム
(株)テレビ朝日アスク	株)テレビ朝日クリエイト	東京衣裳(株)
東京海上日動火災保険(株)	東京ガス(株)	日本自転車振興会
(株)俳優座劇場	(株)文祥堂	(株)増岡組
万座温泉ホテル		

商品協賛会社 (敬称略・五十音順)

市川商事(株)	銀座きしや	ケンミン食品(株)
チャイナハウスカモメ	(有)カシオペア	箱根小桶園
(株)東京ネットワーク社	伊香保温泉ホテル轟	万座温泉ホテル
(株)毛髪クリニックリープ21	ライオット警備(株)	ホテルリストル猪苗代

字幕放送・手話放送・解説放送 推進事業

独立行政法人情報通信研究機構は、福祉社会における放送を通じた情報へのアクセスの機会の均等を図るために字幕番組等の制作費の一部を助成しております。また助成先は公益法人（テレビ朝日福祉文化事業団など）であることが条件となっています。

当事業団は、この助成に対して交付申請を行うなどし、字幕付テレビ番組等の制作を促進し、聴覚・視覚障害者や高齢者などが放送を利用するための向上を図っております。

平成19年度は以下のとおり助成金の交付を受けて事業を行いました。

◎字幕番組	51,555,300 円
◎手話番組	762,700 円
合 計	52,318,000 円

新潟県中越沖地震、国内・海外 災害被災者支援義援金

今年度表題の災害に対して、視聴者の方々からの災害義援金としてテレビ朝日より「ドラえもん募金」および一般の方々からの義援金が事業団に寄せられました。事業団は、新潟県中越沖地震、国内・海外災害被災者義援金を日本赤十字社などへと寄託しました。義援金内訳は次の通りです。

義援金

(平成20年3月31日現在 単位:円)

	新潟県中越沖地震	国内海外災害
テレビ朝日ドラえもん募金	71,527,692	0
一般 義 援 金	2,095,752	2,000
平成18年度繰越預り額	0	2,000
合 計	73,623,444	4,000

新潟県中越沖地震被災者支援募金

テレビ朝日ドラえもん募金

募金期間 平成19年7月17日～8月19日

告知枠 スーパーJチャンネル、報道ステーション他

募金総額 71,527,692円

募金明細	ダイヤルQ2	66,837,692円
	テレビ朝日アトリウム設置募金箱	190,000円
	テレビ朝日	2,500,000円
	(株)藤子・F・不二雄プロ	1,000,000円
	シンエイ動画(株)	1,000,000円

一般の方々からの義援金

総額 2,095,752円

明細	スポーツフィランソロフィー協会	2,000,000円
	一般視聴者	95,752円

寄託先 新潟県災害対策本部 33,747,400円
日本赤十字社 39,876,044円
贈呈日 平成19年7月31日 35,000,000円
テレビ朝日福祉文化事業団理事君和田正夫より日本赤十字社
社長近衛忠輝氏へ寄託。
平成19年8月23日 33,747,400円
テレビ朝日福祉文化事業団理事長君和田正夫より新潟県泉田
裕彦知事へ寄託。
平成20年10月3日 2,091,752円
テレビ朝日福祉文化事業団常務理事佐方紀子より日本赤十字
社事業局救護福祉部へ寄託。
平成20年3月21日 2,784,292円
テレビ朝日福祉文化事業団事務局長高井正憲より日本赤十字
社事業局長山田史氏へ寄託。

国内・海外災害被災者支援金

一般の方々からの義援金

総額 4,000円
明細 スマトラ島地震被災者義援金 一般視聴者 1,000円
(平成18年度繰越預り額)
能登半島地震被災者義援金 一般視聴者 1,000円
(平成18年度繰越預り額)
三重県地震災害被災者義援金 一般視聴者 1,000円
ペルー地震被災者義援金 一般視聴者 1,000円

寄託先 日本赤十字社

寄託日 平成19年10月3日 4,000円

テレビ朝日福祉文化事業団常務理事佐方紀子より日本赤十字
社事業局救護福祉部へ寄託。

ご協力いただきました視聴者の方々に厚く御礼申し上げます。

ご寄付をいただいた方々

一般寄付（敬称略・順不同）

個人4名 (株)テレビ朝日 (株)テレビ朝日ミュージック
(株)シンエイ動画(株) (株)藤子・F・不二雄プロ テレビ朝日映像(株)
(株)テレビ朝日リビング (株)テレビ朝日ベスト (株)文化工房
(株)テレビ朝日サービス (株)トラストネットワーク (株)テレビ朝日クリエイト
城南質屋協同組合 かがやきライフ江東 ケントスゴルフクラブ
(株)テレビ朝日データビジョン (株)日本ケーブルテレビジョン
(株)ビデオ・パック・ニッポン (福)東京都社会福祉協議会
(社)日本女子プロゴルフ協会 スポーツフィランソロフィー協会
巨人軍原辰徳監督を励ます会 静岡市葵区横田町町内会
東京アンサンブルチャリティーコンサート (株)スタジオ・ケイグループ
長寿社会福祉事業等関連団体連絡協議会 東京都ボランティア活動推進協議会
テレビ朝日番組「ミュージックステーションスペシャル」
尚、ご寄付をお寄せ頂きました個人のご芳名は個人情報保護のため掲載
を割愛させて頂きました

◇ご寄付くださる皆様へのお願い◇

テレビ朝日福祉文化事業団では、その活動を支えていくために、広く皆様にご寄付をお願いしています。個人は所得控除、法人は損金算入が認められます。

また、当事業団では香典返しの一部を社会福祉事業にとのお考えをお持ちの方々からのご寄付を賜っています。ご意思のある方はご連絡ください。

〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1 テレビ朝日福祉文化事業団へ
直接現金書留でご送金いただくか、
郵便振替 00110-6-761778「こころの樹」にお振込みください。

平成19年度収支報告

平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日

(単位 : 円)

科 目	金 額
取 入 の 部	
寄付金収入	45,950,226
基本財産基金利子収入	0
運用財産基金利子収入	17,811,559
運用財産利子収入	314,771
社会福祉大相撲事業収入	25,090,000
当期収入合計 (A)	89,166,556
前年度繰越額 (B)	143,529,896
収入合計 (A+B)	232,696,452
支 出 の 部	
高齢者福祉費	10,215,238
心身障害者福祉費	9,538,631
児童福祉費	18,184,496
ミュージックウェーブ	4,384,450
社会福祉大相撲事業支出	23,055,565
交通事故防止団体等支援金	1,700,000
災害援護活動・支援費	2,027,940
30周年記念事業費	19,307,311
広報費	4,852,364
事務費	4,617,834
人件費	8,315,697
租税公課	2,000
当期支出合計 (C)	106,201,526
当期収支差額 (A - C)	△ 17,034,970
次期繰越額 (A + B - C)	126,494,926

テレビ朝日福祉文化事業団(平成20年3月31日現在)

理事長・評議員	君和田	正夫
常務理事・評議員	佐方	紀子
理事・評議員	瀬廣	貞道
理事・評議員	石野	清治
理事・評議員	橋高	利一
理事・評議員	井高	憲正
理事	崎山	哲和
監事	田平	男子
監事	井若穂	透
評議員	坂本	誠
評議員	河早	洋
評議員	田池	守
評議員	橋大	博
評議員	間風	治
評議員	木松	夫康
評議員	木梅	夫孝
評議員	澤古	邦邦
評議員	沢宮	介成
事務局長	高井	憲



tv asahi welfare foundation